

令和5年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立都南小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・低学年の授業では、身近な生活の中からのいろいろな材料を集めて発想を広げてつくるなど、主体的に取り組む、つくる楽しさを味わわせることができた。また絵の具やクレパス、カラーペンなど様々な材料や用具を使い、表し方を工夫して表現することが身に付いてきている。
- ・中、高学年はテーマに対して制作に意欲をもち、集中して取り組むことができた。

(2) 課題

- ・中学年・高学年は、すでに学んだことをもとに材料や用具の特徴を生かしてより創意工夫しようとすることに課題がある。
- ・用具を扱う基本的な知識・技能が不十分である。繰り返し指導を続けていく必要がある。また、用具を大切に扱うことや最後まできちんと片付けることへの意識を強くもたせていくことが課題である。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・体を使った経験の少ない児童に、手や体の感覚を働かせて作る単元を用意し、工夫して作る工作的なものや造形遊びを取り入れる。 ・のり、はさみ、ボンドなどの用具の正しい使い方を知り、自分の思いを表現できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と共同で使う道具や材料を大切に使うことを学ばせる。 ・見通しをもって使う道具や材料を選んだり、用意したりする。 ・楽しい発想が広がる題材やテーマを設定し、豊かな表現力を培わせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや発想を主体的に表現できるように、友達との交流の場を設ける。 ・取り組みたいと思わせる題材にICT機器等を利用して広く提供する。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・材料や用具の活用、導入の工夫をし、作り出す喜びの経験を積み重ねる。 ・造形的なよさや美しさ、表したいことなどについて自分なりに考えたり深めたりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもたせる工夫として、めあての掲示、手順の視覚化などを行う。 ・用具の経験を増やし、材料などと組み合わせるようにする。 ・造形的なよさや面白さ、表したいこと等を自分なりに見付け、表し方を考えながら活動に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族へのプレゼントや生活で使えるものなど、意図や目的をもってつくることができるものや、イメージが広がるテーマを設定する。 ・題材の振り返りで、制作活動や鑑賞活動から自分が感じたことを伝え合う場を設け、意欲につなげる。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・手順や注意点を確認させ、見通しをもたせる。 ・題材の導入では、用具の正しい使い方を確認し、今まで経験したことを生かして取り組んだり、自分の感覚や行為を通して、構成や色の組み合わせなどを工夫したりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもたせるため、めあての掲示、手順の視覚化等を行う。 ・既習の学習を生かして活動に取り組めるよう、活動内容に応じて用具や材料や資料の提示をする。 ・造形的なよさや面白さ、表したいこと等を見付け、表し方を考えながら活動に取り組ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材設定の工夫をし、表現の幅をもたせ、意欲の持続を図る。 ・学習内容に応じてペアやグループ、全体など、学習形態を工夫する。 ・思いがより広がるテーマを設定する。